

令和 6 年 1 月 26 日  
福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

## いわき丸トロール調査で「左カレイ」が入網しました

「左ヒラメに右カレイ」という言葉があるように、通常、ババガレイ（地方名：ナメタ）を含む多くのカレイ類は、腹側を手前にしたときに頭が右を向きます（写真下）。ところが、今回入網したババガレイのうち 1 尾は、頭が左を向いていました（写真上）。



ヒラメやカレイは、産まれたばかりの時期には体の左右に一つずつ眼があります。成長に伴い、カレイでは体の左側にある眼が、右側に移動します。これには、ホルモンの働きが関与していると考えられており、ホルモンに異常が生じることで頭が逆向きになるようです。

頭が逆向きになったヒラメやカレイは、餌をとる能力や、外敵から逃げる能力が劣るとされています。そのため、自然界では生き残ることが難しく、なかなかお目にかかれないのかも知れません。

(参考)

- (1) 有瀧真人, 田川正朋. カレイ科魚類人工種苗における形態異常魚の普遍的特徴. 日本水産学会誌. 2013; 79(4): 613.
- (2) 鈴木徹. 異体類における左右不相称性異常の分子発生機構. 日本水産学会誌. 2016; 82(5):802.